

第 90 回滋賀県入札監視委員会 会議録（要旨）

日 時	令和4年11月28日（月）9：30～11：30
場 所	大津合同庁舎6階 6-D 会議室
出席委員	杉浦委員長、小林委員、須藤委員、中本委員、福山委員、北谷委員

結果

該当期間の入札契約手続に問題は見られなかった。

議題（1）令和4年滋賀県入札監視委員会報告書（案）について

事務局	下記資料を事務局より説明 令和4年滋賀県入札監視委員会報告書（案）
委員	附帯意見に対する措置状況の中で、難工事指定制度というものを新たに設置したとのことだが、どういった経緯で設置に至ったのか。
事務局	市街地でやると難しい工事など業者が受注したくないような内容の工事について難工事と指定することによりインセンティブを与える制度を設けた。このことによって応札者が一定数増えて改善傾向が見られたということを措置状況として記載している。
委員長	制度を新しくしたときには事後の振り返りが重要なので、年度ごとに検証していただいたら有効かと思う。 事務局（案）のとおりとしてよいか。（各委員了承）

議題（2）滋賀県発注工事等に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について

（令和4年4月～令和4年7月）

事務局	下記資料を事務局より説明 （資料1）入札方式別発注工事総括表 （資料2）入札方式別発注工事一覧表 （資料3）入札参加停止等の運用状況一覧表 （資料4）審議対象工事等一覧 （資料5）滋賀県発注工事等落札率の推移 （資料6）落札決定誤りの状況一覧表
-----	--

委員長	本年は県の工事予算が減少しているとのことだが、これは毎年度削減されているわけではなく単年度でたまたま減額となっているだけなのか。
事務局	基本的には単年度で起こったことと考えている。たまたま今現在、国の方では国土強靱化の五か年加速化対策ということで社会資本に対する補助が従来よりも多くついている。その予算措置が当初予算で措置される場合と今年度のように補正予算で措置される場合があるので、どちらで対応するかによって年度ごとの高低が生じているという状況。以前が緊縮財政で低めの設定だったので、執行予算としてはここ4、5年ずっと右肩上がりにはなっている。
委員	前回の入札監視委員会で審議した再苦情案件について、その後何か反応はあったか。
事務局	前回審議いただいた再苦情案件については審議後すみやかに申立人への回答を行った。その後、申立人からの反応は今のところない。

議題（3）抽出された工事等の競争参加資格の設定方法等の審議について

① 番号2【令和04年度 第6-01号 本堅田衣川線補助都市計画街路整備工事】

都市計画課 一般競争入札（簡易型）

発注機関	（概要説明）
委員	入札を辞退している業者がいるが理由は分かるか。
発注機関	業者個々の事情なので理由までは把握していない。設計額が合わないとか技術者の人数が足りないなどの理由が考えられる。
委員	総合評価における評価点と評価値はどういった関係なのか。
発注機関	評価点というのは総合評価点数のことで、評価点を入札金額で除したものが評価値となっている。
委員	落札されなかった業者の評価点については中身の審査をしないのか。
事務局	本案件については特別簡易型ということで入札事務を簡素化させており、開札後に落札候補者のみを審査している。これとは別の標準型の場合には開札するまでの間に総合評価の技術提案書の中身について点数を決定しなければならないので、事前に全業者の審査を行っている。
委員長	手続は適切と判断してよいか？（各委員了承）

②番号69【令和04年度 第1号 聾話学校本館棟その他便所改修工事】

建築課 一般競争入札（事後審査型）

発注機関	（概要説明）
委員	週休2日工事における休日とは土日に限るのか。

発注機関	営繕工事の場合には、土日に限らず平日でも特定日を最初に決めてもらって週休日に設定している。
委員	土木工事の場合はどうなっているのか。
事務局	土木工事の場合は土日を基本としており、事情がある場合のみ特定の2曜日を期間中に一貫して週休日とするという設定をしている。
委員	週休日の定義は何か。土日には出社しないということか。
事務局	実際には土日に出勤しているかもしれないが、現場事務所を閉めるということ週休日の定義としている。
委員	落札者以外の4者が全て予定価格超過となっているが、こういった場合には積算を見直すなどの対応をとられたりはしないのか。
発注機関	学校という特殊な施設であることや近年の資材価格高騰の影響もあって今回は応札額が高くなったものと思われる。積算自体には問題なく、今回については単発的な事象という判断でやり直しとはせず、そのまま落札決定に至った。
委員長	手続は適切と判断してよいか？（各委員了承）

③番号 334 【令和 04 年度 第 11 号 安曇川左岸 2 期地区実施設計その 2 業務委託】

高島農業農村振興事務所 一般競争入札（簡易型）

発注機関	（概要説明）
委員	応札者が 1 者のみとなった理由は何か。
発注機関	以前に発注した基本設計業務からの連続性がある業務であるため、以前に落札して業務に精通している 1 者のみが応札したものと思われる。
委員長	総合評価方式に関する評価調書において落札者の配置予定技術者の資格に係る点数が 0 点となっているが、これは資格がない人を配置させるということになるのか。
事務局	入札参加要件に定める技術者の資格要件は持っているという前提での入札参加となるので、これがなければそもそも入札参加ができない。評価調書中の配置予定技術者の資格というのは入札参加要件に定める資格以外の違う分野の資格をもっていけば加点をするというもの。本案件でいえば入札参加要件に定める資格は持っているが、違う分野の資格までは持っていないということになる。
委員	業務の区分として高難度と高度とが分かれているが、何らかの基準でもって振り分けを行っているのか。恣意的に運用されるおそれはないのか。
発注機関	何か基準があるわけではなく、専門的な判断でもって振り分けを行っている。
委員	手続の見える化ということを考えると、何らかの基準でもって業務の区分を振り分けられるようにしておくべきだと思う。
委員長	高難度と高度という文言だけでは振り分けの判断が難しいと思うので、客観的な判断基準を作るよう検討していただきたい。

	手続は適切と判断してよいか？（各委員了承）
--	-----------------------

④番号 447【令和 04 年度 第 B604-1 号 丁野虎姫長浜線補助道路整備建物調査業務委託】

長浜土木事務所 随意契約

発注機関	(概要説明)
委員	補償コンサルタントができる業者は何者いるのか。
事務局	令和 4 年度の滋賀県有資格者名簿に補償コンサルタントで登録されているのは県内業者が 57 者、県外業者が 129 者となっている。
委員	本案件を随意契約とした主たる理由は何なのか。
発注機関	今回の案件は過去に補償費算定を行った物件の再算定を行うもの。代替性がないものとして、過去に算定を行い内容を熟知している業者との随意契約とした。
委員	過去に算定されたときの成果物さえ県が持っていれば他の業者でもできないことはないのではと思う。
発注機関	他の業者でも時間をかければ算定できるかもしれないが、今回は立ち退き等の事情もあり早期に再算定を行い補償額を提示する必要があった。
委員	そうであれば、随意契約の理由としては緊急を要するなどの方がふさわしいのではないか。少なくとも、代替性がないためという理由は違うのではないかと思う。
委員長	委員の意見を踏まえて改められるところは改めていただけたらと思う。
	手続は適切と判断してよいか？（各委員了承）

⑤番号 296【令和 04 年度 第 203-2 号 草津川河川改良設計委託】

南部土木事務所 一般競争入札（簡易型）（低入札）

発注機関	(概要説明)
委員長	総合評価に関する評価調書において技術者の表彰歴が 0 点となっている。表彰自体があまりないのか。それとも今回の応札者がたまたま表彰されていないだけなのか。
事務局	それなりに表彰はしている。ただ、会社としては表彰されていても、部門が違っていたりその時の配置予定技術者にはたまたま表彰歴がないなどで 0 点になることもある。
委員長	手続は適切と判断してよいか？（各委員了承）

⑥番号 325【令和 04 年度 第 RC1-2 号 琵琶湖湖南流域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会検討業務委託】

大津土木事務所 一般競争入札（簡易型）（低入札）

発注機関	(概要説明)
委員	委託の低入札価格調査における付加要件は何があるのか。

事務局	他の業者からのクロスチェックを受けることを義務付けている。本来であれば自社のチェックだけで足りるが、低入札価格調査の場合には品質確保の観点から、そのチェックを他社に委託することとしている。
委員	付加要件を履行する業者もいるのか。
事務局	ほとんどの場合は辞退されるが、履行する業者もごく稀にいる。
委員	河川砂防関係は高難度の業務に該当する場合は多いのか。
事務局	審議案件で高難度の業務がたまたま2件続いているが、コンクリート護岸等の通常の河川改修に係るものであれば高難度には該当しない。
委員	もしも全ての応札者が低入札価格調査で失格となった場合にはもう一度入札をやり直すのか。
事務局	入札をやり直すことになる。
委員	その場合には同じ会社がもう一度応札できるのか。
事務局	応札可能である。
委員長	手続は適切と判断してよいか？（各委員了承）

以上